みいけ
発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町
電話3033番
炭電 528 475 番
編集発行人　平島敏治
三鉱労組印刷工場
三鉱労組機関紙

選擧對策や當面の闘争方針等を決定
第6回炭労中央委員会

第六回炭労中央委員会は一月廿八日から二月一日まで五日間、東京の中労委会館及び炭労事務所で開催（三池から菊川書記長、花園政対、木村労働部長出席）議長に竹内繁夫（雄別）、丸岡義夫（日炭高松）両氏を選び、田中委員長挨拶、全自、全金属、東京地評、社会党左右両派、産別、合成化学国民経済会各代表から夫々メッセージを受け一般経過報告（別項所報）衆議院選挙闘争経過報告を確認の上労働法改悪に対する抗議文を政府に提出する事を満場一致決定、以上で第一日を終り、第二日は十月以降賃闘経過報告に入り福炭労より大会要請に何故応じなかつたかの緊急質問に対し、執行部より大綱左記の答弁

1、闘争後の事務的処理が終了してない（山元展開等）

2、臨時、定期大会と分けると経費面に不可能である

3、統制上の問題が必ず生ずる、充分調査が必要である

4、地方本部要請は中央委員会招集状発送後であつた

切離してやるか一本でやるかで論議し、決論として定期大会を繰上げて二月末に招集する事で諒解午後は質疑応答に入り

◇第三十回一二八中闘委で戦術委結論否決、二八対二九の点

◇保安要員引揚について中央は腹があつたか何うか

◇職組離脱状態如何

◇妥結時の状態

等々に質問の矢が注がれ、議事運営委員会の会期二日間延期を諒解

結　論

炭労の基本的方針に誤りはなかつた。

1、講和後の労使間の立場を明確にさせた。

2、労組分断工作を打破した。

3、ベース・アップは標作引上の阻止が出来たが中山斡旋案に基く七%増は炭鉱労働者の低賃金を解決するものでなく満足出来ない。だが次期闘争でこの勝負は明確化されるであろう。

以上批判集約し中闘自己批判に附加し大会に提出検討する。

次いで昨年下期々末手当について

◇中央は如何に指導調整したか

◇五〇〇〇円斡旋案についての対策如何

など質疑応答後諒解

感謝文採擇の件

炭婦協、嘉穂労組、友誼団体宛感謝文発送万場一致諒解。

闘争に伴う措置

1、中闘解散の件

2、規約六十二条申請の為統制委員会設置の件

北海道、福岡各二　他地方各一で承認決定

地方経過報告

詳細定期大会で行う事で大綱的報告が北海道、常盤、山口、九州より各々され諒解

なお終了後在京福岡中央委員で参議の件、統制委員選出で会議を行い統制委員に三井菊川、貝島横田両氏を決定、参議院議員候補者に三池阿具根組合長を決定、三池中央委員は同夜中に山元に連絡し、説得に努めるよう連絡した。

第四日は会場を事務局に移し

◇北海道茂尻労組企業整備闘争支援の件＝六十三日スト直後会社より坑外夫一〇〇名企業整備を提示した。数回団交の後二十五日決裂　二月一日以降行動の自由を留保する事になつている。会社、組合に抗議、檄を願いたい旨動議提案、万場一致決定

◇アルバイト犠牲者救済の特例に関する件＝中闘指令第二号記の二の別紙「長期の実力行使態勢確立の為の具体的方針」二の3に基くスト中の組合員の臨時就職により犠牲を蒙つた者に対する救済の特例案が提案され、最終的に大会で決定するも死亡者のみ葬儀、弔慰料を贈る事で原案通り決定。

炭労、電産が孤立
今次賃闘の自己批判

組織上の問題

資本家陣営の結束に比し総評傘下の労働陣営は統一的な闘争にならず、炭労、電産が孤立してしまつた。総評の機構、経営面も今後充分検討の必要あり

炭　労

常盤の脱落は当初より計画された労働戦線の分裂工作だ。職組にしても労働運動のルールより逸脱した行為だ、これ等は統制の中で充分研究する。

賃金形態

マ・バ方式は労働者の賃金形態である。今後充二分に大衆化する様にすべきである。

戦術上の問題

保安要員引揚は全く有効である。今後なお一層研究して消化出来る様に努めたい。

緊急調整

内部態勢の弱さから発動された事によりスト中止する結果になつた今後の闘争は緊急調整発動により中止されるという組合員の考え方は又与論については改めさせる。

資金面

資金面については万全でなかつた今後早急に財政面にも立直り次期に備える。

情宣活動

階級的な意識高揚に努める。

梅綻ぶ

きのふぼたん雪ふつた
のに　どうだろけふの
暖かさ

枯木のやうな梅の木に
花がさいたよチラホラ
と

梅がさいたら春が　今
年もきつとくるだらう

春はそこまで来てゐる
よ　元気だしましよよ
い子たち

當面の闘争方針

午後は当面の闘争指針に関する件を審議

一、本指針はこれにより二十七年度行動方針を変更したり或いは二十八年度行動方針に肩替りするものでない。

二、六十三日の長期ストにより当面する種々の問題が発生している。これに対する対策、又企業整備対策等々緊急に対処する為の指導方針がこの当面の闘争方針であるとの前提の下に

◎総評批判に対する対策

◎緊急調整に対する対策（撤回闘争）

◎一般与論の喚起につとめる（社会タイムス、ラジオ、情宣等）

◎統一闘争と組織の整備

◎企業整備と労働協約

◎争議態勢確立

その他を決定

満場一致　阿具根氏決定
参議院議員選擧對策

次いで参議院議員選挙対策に関する件については選挙綱領、具体方針の提案をめぐり種々論議したが具体的活動方針1項の〃但し炭労公認候補は原則として社会民主々義政党の公認候補であるべきである…〃を削除して原案通り諒解決定、全国区候補推薦については山本委員長より

福炭労としては全国区候補として阿具根氏を推す事に決定した三池労組は現在審議中だが同氏は立候補しない旨意旨表示している。だが今回の選挙の重要性からいつて一支部一個人の意志により炭労より一名も立候補させることが出来ないという事態をおそれ敢て阿具根氏を推す事に決定した。旨を述べるや満場割れる様な拍手でこれを決定した。

最終日第五日（二月一日）は

一、カンパ資金を充当する必要があると考えられる費用の件＝執行部よりスト中一千八拾五万〇千二百二十九円を嘉穂、油谷争議費、スト中の平常費、赤字補填、中小対策費に消費したい旨提案、原案通り諒解。但し今後資金カンパされる金額は嘉穂争議に優先的にやる事を前提として大会で論議する。

二、北海道茅沼企業整備の行われつゝある状態に対し中央委員会名で檄を送る（決定）

三、最後に三池菊川書記長より今次闘争をかえり見て充分自己批判をなした。又今後起り得る企業整備闘争、完勝を期さねばならぬ○議戦等々に対処する決意を本中央委員会名にて決議し内外に宣言したい（諒解）

以上で全日程を終り議長団挨拶の後中央委員会は終了した。

炭労現有勢力
（昭和27年12月末現在）

地方別	支部数	組合員数
北海道	一〇四	九〇、五九二
常磐	一七	四、九八七
山口	一八	一四、五七〇
福岡	一一八	一二一、七二七
佐賀	二三	一四、六七一
長崎	二一	一八、一九九
直轄	一八	三、二五四
総計	三一九	二六七、九九九

炭労原副委員長等来山

二月七日炭労大会を前に各山の情勢視察と賃金闘争批判をうけるため炭労副委員長原茂氏及び炭労出身の多賀谷代議士を福炭労山本委員長が案内三池に来山、各支部訪問の上八日の中央委員会に出席した（右から多賀谷、原、山本氏）

炭労報告を確認
阿具根組合長の立候補本決り
三池の中央委會

第四回中央委員会は八日午前九時から労働会館で開催、三鉱連大会報告（北岡教宣部長）を確認の後菊川書記長から別項所報の如き炭労第六回中央委員会の経過を報告特に炭労公認参議院議員全国区候補者に阿具根組合長が決定されたについては、山元として先の中央委員会で〃この件に関しては上部組織の決定に従う〃旨決定していることでもあるので、その点も参酌の上態度を決定して頂きたいと諮つたに対し若干の質疑応答の後問題なく報告を確認、こゝに阿具根組合長の立候補は本決りとなつた。

投　稿

現実をつくるもの

学校教育及び社会教育の目的に就ては色々論議があるが終局の目的は生きる為の教育であることは間違いない。

生きるためには平和と楽土を希求するのも又鉄則である。

この鉄則を守る為に二ツの主張がある。それは武力で求める平和とそれでない平和である。

平和の形式論を盛んに聞くが教育委員としての立場は非常に微妙な立場に置かれている夫々の各委員の性格、感情、環境、感傷等の相違から結論は必ずしも一致しない。

ところで一致しないがまゝの学校教育、社会教育の方針をうち樹てるとすれば大変なことになる。私は斯うした論議の過程に於て、それは現実を無視した理想論であるとか又は狂想論であると極めつけられる事がしば〳〵あるが、この現実こそが問題である。

現実は誰がつくり又誰が支配するものであるかをじつくり考えて見なければならない。現実の絶対性はあり得ないし又げん在から将来への推移の方式も忘れてはならない。

若し総べてを近視眼的にげん実のみを見てこれを誇張して将来への道標を失つてしまつたならば、これこそ最大の不幸の因をつくり、自殺行為的になり発展はおぼつかないと思う。

げん在やゝもすると時代逆行的傾向の徴があるが、教育委員としての立場からばかりでは無くして父兄の立場からしても強力に前進の方向へ導かねばならない義務がある。

これを単に教師の質の向上とか環境の整備とかの議論は第二義的なものであり、もつと深く掘りさげて行けば当然これの総べてが時の政治によるものであるということは多言を要しない。

政治は自らが行うものであるということは明白であるが、議会政治を是認している今日では飽迄も夫々の立場からその意志を代表する人を選ぶことが常道である。その意味であれば代表の選択は身近かな者であり、已れを理解の出来る人であらねばならない。

斯くて色々な政治の中に代表を送り込むことによつて、労働者のみんなのよりよい世の中になり得ると確信する。

かゝる意味におきまして皆様方と同じ道程の中にある私の教育委員としての仕事が完全に成し遂げられると思つております。

個々の感情の支配によつて又は交互的傾向によつて冷静な判断を誤ることは万年に悔を残す結果になるわけです。

時の流れに諸々が錯綜するに従つて益々私達の周囲に困難な事が起る事と思いますが、冷静に正しい判断力に依り、互に力と力の結びつきで処理して進んで行こうではありませんか。非常に抽象的な文章になりましたが、思いつきのまま卒直に述べて見ました。

義務教育費国庫負担による教員の国家公務員化とか警察制度の一本化或はスト禁止の単独立法及び労働法改正と今度の十五国会に権力の増大による逆コースが一段と濃ゆくなりつゝあるようで御座居ます。

愈々二十八年度の予算が国会でも県会でも又市会でも審議され始めております。学校の建築計画予算、教育方針など皆様方に訴えもし叱責も受け真剣に取り組みまして、その都度報告を致したいと思います。

澤田富夫

（筆者は組合選出荒尾市教育委員）

前　進

悪法反對に起て

政府は昨年末の吾々炭労、電産の争議が社会的に影響を来たした事が、一方的に吾々労働者の責任であるかの如く吹聴し、公共的な性質を有する事業の争議制限に関する法案を今国会に提出する事が必至となつた。

炭労出身の多賀谷代議士が語つたところによると労働省事務当局としては、国会には考案中と報告するよう、吉田首相に進言したことに対し、首相は施政演説の中では明確に今次国会に提示すると言明した。如何に政府与党が財閥の番犬であるかがこれによつても明かであろう。

△

政府は石炭、電気のみに限らず、水道、ガス、私鉄などの公益事業にもスト制限の法案を適用する意見もあつたが一應の結論として「電気事業及び石炭鉱業の争議行為を規制する法律案要綱」として九日の次官会議で内定し、十日の閣議で決定の上今週末ごろ東京、大阪、福岡などの主要都市で公益及び消費者代表による公聴会を開き、その意向も参考にして成文化の上今月下旬までに国会に提出するようである。

△

この法案の要綱は全文三條からなり、第一條で公共の福祉を守る建前として電気事業及び石炭企業の争議行為を規制するものであると明かにしている。

第二條では停電スト、電源ストを含む電気供給に支障ある争議行為の禁止、第三條で炭鑛の坑内の保安を守る為に保安要員の引揚げを禁止している。

このスト制限に違反したものについては事務当局では当初二年以下の体刑を含む罰則を設けることを考慮していたが、法務局の異論もあつて結局罰則は設けないことになつたが、このような争議行為を違反行為として労働法の保護より除外するのでこれに違反すれば電気、ガス臨時措置法、鑛山保安法などの各事業法規及び刑法などの適用をうけることになる。

△

吾々炭鑛争議の場合政府や資本家は保安炭は万全である、又危殆に頻すれば輸入炭を入れると豪語し争議自体の収拾には何んらの努力を見せず、ストの効果が現れる頃になるとブル新聞をはじめあらゆる報道機関を通じて与論の反撃の前に吾々労働者をたゝせた。

又電産の場合も配電によつて大資本の擁護を図り炭労同様組合を社会不安の責任者として指摘している。

これらを考えてみると如何に民主勢力の基盤である労働組合運動の弾圧を企図し、大資本の擁護と再軍備への逆コースを急カーブで辿つているかがうかがえる。

△

この法案は明かに労働法規の改悪であつて、来るべき企業整備、低賃金政策の前哨線であることは言を俟たない。

前の労働法改悪闘争の批判を十分なして総評を中心として全組織労働者が起上り反対闘争を盛り上げねばならない。

労働法改悪　抗議文

去る一月二十七日の閣議において公益事業並びに基幹産業のスト制限強化の方針を決定したと各紙は報じているが、今次炭労、電産ストを契機として、このようなスト制限強化の立法を企図するせい府の暴力的弾圧の野望と、追討をかけるが如きその老獪な態度に、直接弾圧の対象とされる炭鉱労働者として限りない憤りを感じるものである。

そも〳〵緊急調整制度が立法されるに当り、われわれが実力を以て反対したことは、この制どの中に内蔵されているスト弾圧的本質を見抜き、且つ又それが憲法違反の疑いがきわめて濃厚だつたからに外ならない。しかもその砲口は公益事業の制限外にあるわれわれ炭鉱労働者のストライキに対してひそかに向けられていることを直感したからである。

このことは今次争議に当り政府経営者がとつた態度によつて明かに実証され、われわれは身をもつて体験させられた。

炭労第六回中央委員会は憲法によつて保障された労働者の権利を剝奪する緊急調整制度撤廃の闘いを起すことを決議せんとしている矢先、またまた緊急調整をもつてなお足らず一層の弾圧強化をはからんとする今次の閣議決定を知りその憤激を新たにした。われ〳〵はもはや奴隷でもなく奴隷となることをねがわない、労働者の生活を守るためにわれ〳〵の唯一の武器であるスト権を死をもつてでも断乎守り抜くであろう。われ〳〵はこゝに炭鉱労働者ならびにその家族百万の名において今次の閣議決定に対し厳重に抗議する。この正当なわれ〳〵の抗議を無視して労働法再改悪の企図を放棄しない限り、われ〳〵は国会内外を通じ全国民に訴え、最悪の事態には実力を行使してでもこれを阻止する。政府はこれをただ一片の抗議文と見なし、官僚的遁辞をもつて応ずるならば重大な事態の発生を予期しなければならないことを警告する。

炭労第六回中央委員会の名において、われら炭鉱労働者の意思と決意を披瀝し併せて政府が今次企図した労働法改悪に対し厳重抗議するとゝもにその撤回を要求する。

一九五三年三月二十八日

日本炭鉱労働組合第八回
中央委員会

髙野事務局長講演會

総評高野事務局長は十七日来牟、同日午後四時から東新町街頭で時局演説会を催す。組合では多数来会を希望している。

ポイント

資本家の番犬と化したせい府がまたまた　吾々労働者大衆の手をもぎ　足をとるようなスト規制法案を国会に提出する労働法の改悪だ!!断呼闘う

×

労使対策の均衡を破るような一方的な制限禁止をするが労働者がストを決行する根本問題をぬきの立法では社会不安はいつまでもつゞく

×

春季労働攻勢は火蓋を切つた秋季闘争のもちこしだ春季闘争こそ労使の運命を決定し左右するのだ階級的なつながりで闘い抜かん

×

五月二日は参院の任期満了だそろそろ動いているようだ経済闘争も議会へ移行する保守党を出してはならぬ我等の代表政治中闘を送れ

世界の動き

九百万の徴兵適令者
日本の役割に刮目

アイゼンハワー新政府が今後アジアでどんな積極的政策を展開していくかは世界の注目の的となつているが、ニューヨーク・タイムスのハミルトン記者は七日の紙上で「アイゼンハワー政府はアジア政策の長期計画として、日本も含めてアジア地域の反共防衛参加を希望するアジア諸国の地上軍に訓練と装備を与えることを計画しており、この計画にともない約九百万の徴兵適齢者を持つ日本が注目の焦点となるだろう」と述べている。

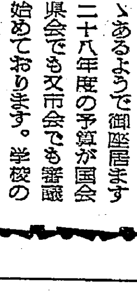
中共封鎖を討議　国連米代表

七日夜得た情報によれば国連代表団は中共封鎖問題について国連の支持を要請するかどうかについての討議を開始したといわれる。なお消息筋の言明によれば米代表団は二週間後再開される国連総会において極東計画も提出するよう準備中といわれる。

ダレス長官歸國の途へ

米国のダレス国務長官、スタツセン相互安全保障本部長官は欧州七ケ国訪問旅行の日程を終り八日夜ルクセンブルグで政府当局者およびシューマン計画共同体当局者と会談した。なおダレス長官は九日朝ワシントンに到着、たゞちにアイゼンハワー米大統領に訪欧旅行の成果について報告する。

創作入選三席
運命の哀號（三）



出雲義雄作
久慈悠一画

この高地から限りなく展開されてゐる広々とした展望は、晴れた夏空の下に鮮かに見分けられるのであつた。指呼の間に、長白山脈の谷間水をかき集めて西南に走る雄大な大漢江の流れがある。麻浦の点綴した部落の対岸の、永登浦飛行場には、前線に飛び立つ韓国陸軍機の絶へ間ない姿が眺められた。

左には、悲痛な表情で龍山の市街が一筋に続き、それと鷺梁津とを結ぶ漢江の橋梁は、韓国軍将兵を乗せた軍用自動車と砲車と、南へ〳〵とあてもなく逃げて行く避難者の群が、洪水のやうに流れ動いてゐた。慌しく騒々しく、叫喚と怒号とは、京城陥落前夜の挽歌であつた。

「この漢江の橋梁が爆破されたとしたら、架橋するほか渡河方法はないのである。といふことはそれだけ韓国軍に余裕を与へることであり、軍の作戦を阻むものである京城以南の戦闘はこの橋梁を拠点として展開するといつても過言ではない」

除太尉は部下を集めて、軍の企図を披瀝した。

「韓国軍の全面的退却が終れば即座に爆破されるであらう。依つて我々は韓国軍の退却を中断し、友軍の到着まで橋梁を確保しなければならない。韓国軍は有力な部隊を放置して橋梁の爆破は行はないと確信される。」

除太尉は、この橋梁をめぐる戦闘が、三十八度線の激戦よりか、かつて日本軍に参加して経験した中国各地の戦闘よりか、最も恐しいことに違いないことを悟つた。今度こそ死ぬといふ想念が痛々しく胸中に拡つた。

（祖国、民族統一！しかし俺は殺されるかも知れない。同じ朝鮮人に依つて…）

午後になつて澄みきつた大気のなかにたゞよふ一抹の涼風が流れ太陽は大漢江とそれを覆ふ冠岳山の彼方にまぶしく落ちて行つた。橋上の叫喚も何時しか断続的だつた。焦燥と動揺との相剋の表情が除太尉の意にさからつて現はれた。

五時四十五分―北鮮軍第一線部隊は広済里をへだたる二キロの地点に進出せり。この無電を受けると、韓国軍の退却状況と、橋梁爆破の時期を明確に判断して、六輌の戦車は一齊に桃山高地を降り始めた。

橋梁口には、韓国軍の歩兵が指点された。そして、三角地の方向には退却を急ぐ車輌部隊の姿もあつた。

戦車は機関銃弾を注ぎながら、橋梁を目指して悠々出撃を計つた叫喚を上げて狼狽する歩兵。一気に歩兵の戦闘力を奪つてしまふと戦車は直に橋梁を背にして、息もつかさぬ銃火の洗礼を与へた。そのうち戦闘体形をとつた韓国兵からの攻撃も熾烈の度を加へ、対戦車砲の来援を得るとその集中砲火はいよ〳〵烈しくなつた。

敵に全身をさらけだしながらも戦車はその位置を頑として動かずしかしはや三輌の戦車は黒煙を上げて炎上し、このころになると歩兵が遮蔽物のかげから火えんを放射して来たりして、量の圧倒に状況は何時しか不利であつた。

友軍の到着を得ずして、このまま全滅の悲運に会ふことはあきらめきれないことであつた。しかしそれは除太尉の責任ではなく、僅か六輌の戦車の戦闘力を過大視した、軍の重大な誤算にほかならなかつた。

春物各種品揃
服地のらくだや
大牟田市新銀座
電話三九〇五番

春物大量入荷
洋服の……
内田屋
大牟田市銀座通
電話二一八九番

天下一品
だるまわた
創業慶應元年
鑛業所各賣店に販賣致して居ります
だるまわた合名會社

三池炭鑛労働組合各支部御指定
蛇の目ミシン
九州ミシン商會　本店 松屋横・支店 三川町四丁目

本所支部、宮浦支部御指定
東京ゼブラの自轉車
東京山口の自轉車
BSの自轉車
日直の自轉車
代理店
山口自轉車店
大牟田市上官町一丁目
電話 四〇六五(次)

三池炭鑛労働組合
本所支部御指定
洋服のたつや
有明商店街
電話二四九六番